

2. 指標設定

成果指標	指標名	急傾斜地の崩壊対策		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			土砂災害から受益者の生命・財産を守るため			
活動指標	指標	a	事業実施		b	c		d
	数値	目標	—		目標	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
急傾斜地の崩壊対策		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 事業実施	ヶ所	1 ヶ所	11 ヶ所	7 ヶ所
b		—	—	—
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
順番待ちの状態である
対応（改善点等）
県に補助枠の拡大を要望していく

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

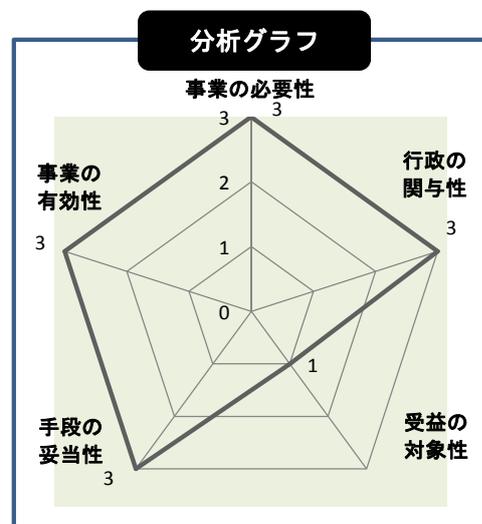
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
うち経常経費		6,725	74,077	30,563	31,000
財源内訳	国費		36,100		
	県費	2,400	8,640	8,920	8,100
	市債				
	その他	608	6,910	2,239	2,700
	一般財源	3,717	22,427	19,404	20,200
うち経常					
事業費に係る人件費		5,781	5,934	4,551	5,274
事業費に係る人役		1.32	1.38	1.06	1.21

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
崩壊対策であり必要である

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 受益者の生命・財産を守るため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市が事業主体である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 地元要望に対応している
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 適正に対応している



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	選択と集中により、適切な事業実施を図ること。